

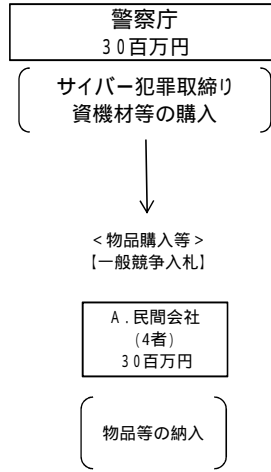
平成24年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	サイバー犯罪取締りの推進		担当部局	生活安全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	情報技術犯罪対策課		情報技術犯罪対策課長 四方 光		
会計区分	一般会計		施策名	7 情報セキュリティの確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年以降、インターネット上の違法情報等の取締りのための地方警察官の増員が認められたことにより、サイバー犯罪捜査を行う上で証拠保全等が必要となる資機材の整備により取締態勢を強化し、サイバー犯罪の被害防止を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	インターネットは国民の日常生活や経済取引の場を提供する重要な公共空間となっている一方で、サイバー犯罪の危険性が增大している。このため、平成23年以降、インターネット上の違法情報等の取締りを強化するための地方警察官の増員が認められた。各都道府県警察の増員によりサイバー犯罪捜査を行う上で証拠保全等が必要となるインターネット閲覧用等資機材(パソコン、ソフトウェア、プリンタ、携帯電話、デジタルビデオカメラ等)を整備し、サイバー犯罪に対する取締態勢の強化を図る。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算		42	33	67		
		補正予算		0	0			
		繰越し等		0	0			
	計		42	33	67			
	執行額			30				
執行率(%)			71%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年	22年	23年	目標値(年)	
	(成果目標) サイバー犯罪取締りの強化	成果実績		件	6,690	6,933	5,741	-
	(参考指標) サイバー犯罪の検挙数	達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年	22年	23年	24年度活動見込	
	サイバー犯罪捜査用資機材を整備した都道府県警察数	活動実績(当初見込み)		県		()	(13)	()
単位当たりコスト	30,100千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	備品費	22	56	治安に関する「重点要求」56				
	消耗品費	1	1					
	借料損料	6	6					
	雑役務費	3	3					
	光熱水費	1	1					
	計	33	67					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	インターネット上に氾濫する違法情報等については大きな社会問題となっており、サイバー空間における国民の安心を確保するため、サイバー犯罪の取締態勢の強化を図ることは、警察の重要な役割である。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	必要な事業項目に絞って一般競争入札にすることにより、競争性は確保されている。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	インターネット上で敢行されるサイバー犯罪捜査に必須の資機材として活用されている。 なお、サイバー犯罪の検挙数については、わいせつ物頒布等事件が前年に比べ481件(3倍)増加、IHCから通報された違法情報の検挙数が295件(4倍)増加と、大幅な検挙数増となった。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>1 支出先・用途の把握水準・状況 警察庁が直接契約したことから支出先及び用途の状況を把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本事業はインターネット上の違法・有害情報対策を効果的かつ効率的に取り締まるために有効であり、増員の規模に応じ引き続き実施する必要がある。 また、現在一般競争入札を行っており、今後にあっても引き続き競争性の高い調達の実施に努める。</p>		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p>		
現状通り	<p>1 支出先・用途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>		
	<p style="text-align: center;">上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>		
	現状通り	特になし	
<p style="text-align: center;">補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			
特になし			
<p style="text-align: center;">関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-4

平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)PUC			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品の購入	サイバー犯罪取締り資機材等納入	24			
計		24	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

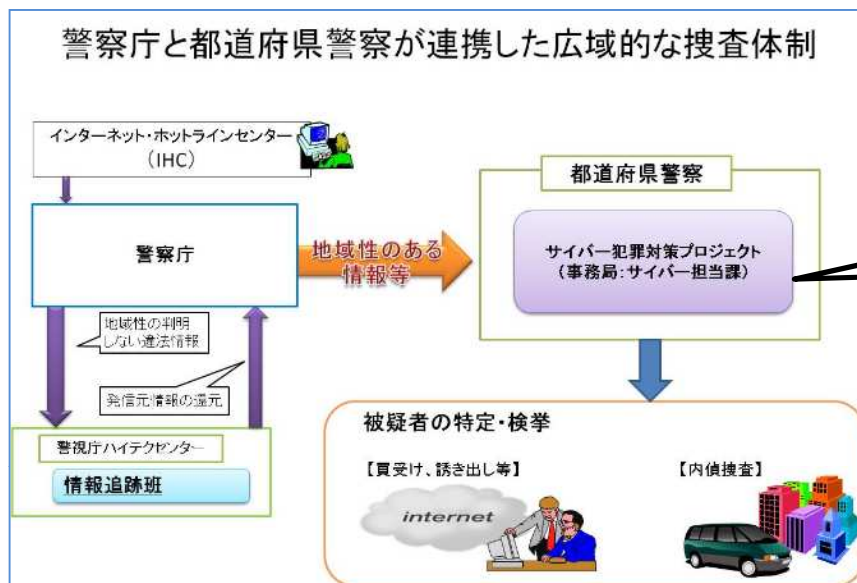
支出先上位10者リスト

A.

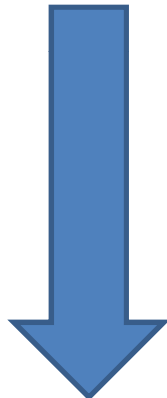
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)PUC	サイバ-犯罪取締り資機材の納入	24	2	
2	ソフトバンクテレコム(株)	サイバ-犯罪取締り資機材の納入	3	1	
3	ドコモビジネスユニット(株)	サイバ-犯罪取締り資機材の納入	2	1	
4	KDDI(株)	サイバ-犯罪取締り資機材の納入	1	1	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事件情報内偵用システムの増強整備

サイバー空間の秩序維持のためサイバー犯罪対策にかかる体制を抜本的強化



H23年度 350人増員



サイバー犯罪捜査に必要な装備



増員した捜査員を有効に活用するため、サイバー犯罪捜査用装備の増強が必要